

ピレリスーパー耐久シリーズ2019 Rd. 3 富士SUPER TEC 24時間レース 参戦レポート

2019年8月20日 作成者：大崎 達也

日時 : 2019年5月31日～6月2日
場所 : 静岡県駿東郡小山町中日向694
富士スピードウェイ
チーム : 冴えカノレーシング with RFC 様
クラス : ST-5 #168 フィット
メンバー : Aドラ=谷岡 力選手、Bドラ=霜野 誠友選手、**Cドラ=大崎 達也**、Dドラ=猪股 京介選手

<レース結果>

予選 : 7位
決勝 : 3位

<予選>

2019年5月31日に実施された予選は、Aドラ・Bドラ合算タイムで争われる。その中でCドラである大崎は基準タイムクリアが1つの目標となる。13時40分、Cドラ予選が始まった。チームより計測1周でのピットイン指示があったので、それに則りタイムを残して**無事予選を終了・通過**した。

<決勝>

2019年6月1日15時、決勝がスタートした。

～16時30分頃～

決勝での初スティントが回ってきた。この時点での順位は**7位**。スーパー耐久決勝での初ドライブ。逸る気持ちを押さえつつ、約1時間半のスティントを無事こなし、**クラス2位**でバトンタッチ。

～0時30分頃～

ナイトセッションでのドライブが回ってきた。コース上の視界は昼間とは全くの別物となっており、さらに走行車両のライトによって視界が幻惑される状態であった。そんな中、大崎は3時間のスティントを任されることになり、前後4本のタイヤを交換し、ピットアウトした。ここで初めてのニュータイヤに少し戸惑いを覚えた。タイヤの皮が剥けて、熱が入るまでは全くグリップしないと事前情報は入手していたが、想像を超えるグリップ感の無さに驚いた。最初の数周を無難にこなし周回を重ねていると、突然無線のエラーが発生しピットとの交信が出来なくなった。ピットボードは出ているものの、ホームストレート上の暗さによりボードを視認する為には走行ラインの変更が必要であったが、レコードライン以外はタイヤカスが多く発生しており、ラインの自由度が無い状態であった。交信が出来ていない事はピットも把握出来ていると感じていたので、乗り込む前に聴いていた目安の1スティント時間を目途にピットインを敢行した。結果、ピットの準備は万全で、無線の問題も解決。残りのスティント中は問題無く、無事走り切る事が出来た。

～11時頃～

大崎の最終スティントが回ってきた。ここまで車両はノータラブル。約20時間走ってきたマシンを労わりつつ、受け取った**2位**という順位を死守する為、全神経をドライビングに集中させ、問題なく最終スティントをこなす事が出来た。

～15時～

栄光の24時間レースチェッカーをチーム全員で受け、**3位表彰台**を獲得した。

<最後に>

今回のレース参戦に当たってサポートしていただきましたチーム関係者の皆様は元より、K&G RACING脇田様、West Sunshine Racing Support南条様、三祐商會様、大阪精研様、そして現地に駆けつけて応援してくださった皆様には厚くお礼申し上げます。本当にありがとうございました。今後もチーム、そして大崎の応援を宜しくお願い致します。

